

つなげよう つながろう

ふたばのわ



表紙は第32回ふくしま駅伝
-2区-

▶奮闘!ふくしま駅伝 双葉町駅伝チーム(P2~3)

- ▶自然を満喫!秋の双葉を歩こう~双葉駅西側地区の災害公営住宅等の設計に関する第3回座談会~(P3)
- ▶双葉町産業交流センター(略称:F-BICC)ガイド その2(P4~5) ▶スマイルフォト(P6)
- ▶冊子「双葉町ありがとうメッセージ」発刊(P6) ▶お知らせ(P7)
- ▶放射線モニタリング情報・ふたさぼミニコラム・ふたばっこ ぶち(P8)

■発行:双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集:双葉町復興支援員(ふたさぼ)

インターネットでも つなげようつながろう ふたばのわ



町公式フェイスブックページ ▼
<http://facebook.com/fukushima.futaba>



町公式ブログ ▼
<https://futabanowa.wordpress.com>



奮闘! ふくしま駅伝 双葉町駅伝チーム



11月15日、第32回ふくしま駅伝が開催されました。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小し、郡山ヒコセ開成山陸上競技場から福島県庁前までの9区間50.2kmを、選手たちが力走しました。

ユニフォームを新調し、装いを新たにして臨んだ双葉町駅伝チーム。第1走者の秋元愛さんが軽快な走りを見せ22位でタスキを渡すと、続く第2走者の黒木劉心さんも、出場2回目にして安定した走りを見せていました。

中でも第4区の新妻翔和さんは、区間13位という記録を残し、初出場ながらにチームを支えていました。

双葉町チームの総合順位は48位で、前回よりも4位アップ。若い力が新たに加わったこともあり、次回への期待が高まりました。

井戸川俊キャプテンは「今年は合宿もなく、練習をする時間が例年より少なかった。その分個人で調整を行ったり、いわき市内のメンバーで集まって練習をしたりして本番に臨んだ。福島県外の選手が出場できないなど例年と違った部分もあったが、中学生2人が加わっ

てくれて、今回のチームの力になっていたと思う」とチームの活躍を振り返りました。

白土直裕監督は「成績にも出ていたように、初出場の2人がよく走ってくれた。例年よりもメンバーを集めることが大変だったが、町の代表として町民へメッセージを届けたいという思いがあり、今回も出場を決意した。来年もまだ新型コロナウイルスの感染状況がどうなっているかわからない部分があるが、今年の出場選手にまた協力してもらえるのであれば参加したいと考えている」と総評と来年に向けての意気込みを話しました。



自然を満喫!

秋の双葉を歩こう

双葉駅西側地区の公営住宅等の
設計に関する第3回座談会

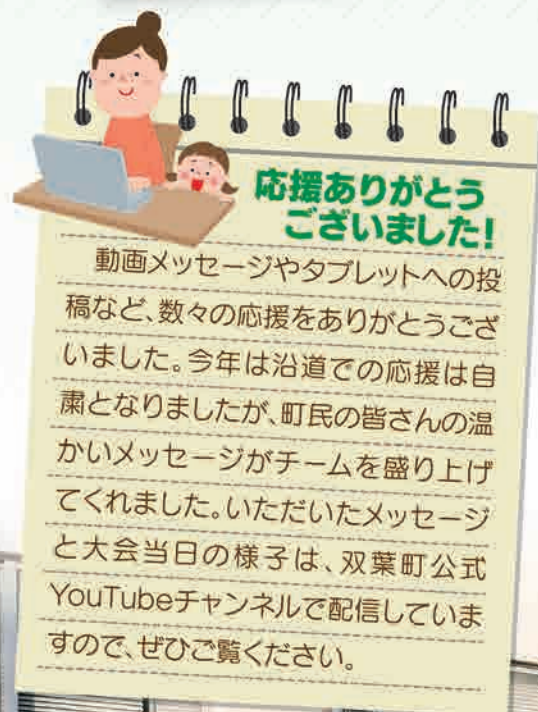


11月8日、双葉駅の西側地区がもつ魅力を体感するため、秋晴れの中、双葉駅周辺を散策するイベントが開催されました。

現在、2022年春頃の居住開始に向け、JR双葉駅の西側において、公営住宅を中心とするまちづくりのデザインを、町民の皆さんと議論しながら検討を進めており、双葉駅西側地区周辺の、谷戸地形と田園風景が織りなす自然風景は、まちづくりのデザインのキーコンセプトになると考えられています。当日は、約30人の参加者が、双葉駅からスタートし、戒川沿いや新山城跡など駅周辺の約3kmを散策しました。

銀杏や紅葉が色づく道をゆつくりと歩き、住宅のコンセプトの中心となる谷戸の前を通ると、参加者の方が「震災以前のように生き物が暮らしやすい池があるといい」「昔みたいに蛸が戻ってくるかもしれない」と興味深そうに話していました。

また、「戒川沿いに桜並木ができればいい」となど意見や要望を積極的に話す方もおり、双葉の自然を楽しみながら、新しいまちづくりへ向けて話し合える貴重な一日となりました。



10月1日、中野地区復興産業拠点内にオープンした双葉町産業交流センター【略称:F-BICC(エフビック)】の2階から4階フロアには貸事務所があり、現在10社が入居しています。

今月からのF-BICCガイドでは、双葉町復興の中核となる施設で日々活動している企業各社に、双葉町における事業内容や展望を伺います。

双葉町産業交流センターは、年末年始の休館日を除いて午前9時から午後6時まで営業しています。10月28日からは、JR双葉駅とF-BICC・東日本大震災・原子力災害伝承館を結ぶシャトルバスの運行も開始され、ますます利便性が向上しています。11月7日には、1階フロアに新たに土産物店もオープンしました。フードコートやレストランなど、お食事やお買い物に立ち寄れる店舗もありますので、町民の皆さまも、一時帰宅の際などに立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

双葉町産業交流センターガイド

略称:F-BICC(エフビック)

その2

双葉町産業交流センター 入居企業紹介 ～広がる産業の輪～



事業内容

大熊町に本社があり、現在はいわき市四倉町で営業をしています。主に事務機器、事務用品、文具の販売を行っており、産業交流センターでは、文具の販売をしながら、仕事で来町した方、Iターン希望者や学生をメインターゲットとしたコワーキングスペース(利用者同士で共有して利用するワークスペース)の貸し出しを行っています。コワーキングスペースには、高速Wi-Fiやテレワーク向けの防音スペース、会議室など、多様な働き方に応じた設備が設けられています。

復興への意気込み

双葉町は今、町として再出発をしているところです。私たちは復興のために、新しい若い芽を育てる手助けをしたくて入居しました。町民の皆さんにも、どんなに小さなアイデアであっても、双葉町の復興を担うヒントとして教えていただけると嬉しいです。



株式会社双葉事務器



代表取締役
志賀祐広様



事業内容

双葉郡8町村の家屋解体をメインとした除染や瓦礫処理などの復旧・復興作業を行っています。浪江町では瓦礫の処理、富岡町では建物の解体を進めてきました。今回の産業交流センターオープンに合わせて広野町から双葉町に拠点を移しました。双葉郡の復興に10年携わってきた中で培ったスキルを、双葉町の復興に生かす事業を構想しています。

復興への意気込み

8年前からずっと双葉町の復興の中心に立ちたいと考えていました。今回やっとその夢が叶いとても嬉しいです。活動する準備はすでに出ていて「双葉町のためなら何でもやるぞ!」という意気込みでいます。そしてこれから2年3年と、双葉町の復興をお手伝いしていく中で、帰ってきた地元の人たちから「良かったね」という喜びの声が聞こえるようなまちづくりをしていきたいです。



株式会社大河



代表取締役
大西美智子様



事業内容

貸切バス・高速バス・乗合バス事業、旅行業、レンタカー事業と交通関連事業を運営しています。産業交流センター内事務所は、東京線の予約センターの他、双葉駅と産業交流センターを結ぶシャトルバスの運行管理センターとしても使用しています。

12月からはレンタカーの貸出も始まる予定です。また、来年2月には中野地区団地内にバスターミナルが完成し、3月からは産業交流センターを経由する東京～南相馬間の高速バスが運行開始予定です。

復興への意気込み

震災を経験し相双地区は気候が温暖で住みやすい環境だと改めて感じました。私たちの目的は、バスを運行することではなく、バス事業を通じてまちづくり支援を行うことです。これからも提案型企業でいたいと考えています。



東北アクセス株式会社



代表取締役
遠藤竜太郎様



事業内容(借室の利用方法)

ダム、トンネル等の土木工事やオフィスビル、工場等の建築工事などを行う総合建設業(ゼネコン)です。産業交流センター内に2部屋を借りて、自社のサテライトオフィス、周辺現場の工事事務所として使用しています。また、部屋の一部を来訪者向けの展示ブースとして使用する予定で、展示ブースは双葉町の移り変わりなどを見ることができるパネルコーナーやドローン映像などを見ることができるタッチ式サイネージの設置を計画しています。

復興への意気込み

私たちは震災前から双葉町内で様々な工事を施工するなど深い縁があり、現在も町内で除染関係の工事を数多く施工しております。そこで双葉町の復興に何か協力できることはないかと考え、今回、展示ブースの設置を町に提案しました。双葉町への帰還促進や企業誘致に、我々の展示ブースを活用していただけることを期待しています。これからも建設という仕事を通して、双葉町の復興に協力していきたいと考えております。

前田建設工業株式会社 東北支店



管理部長
川口和之様



合同開所式・オープニングイベント

11月7日、双葉町産業交流センター(F-BICC)及び東日本大震災・原子力災害伝承館ならびに福島県復興祈念公園の合同開所式が執り行われました。F-BICC周辺の広場で、双葉郡で活動する団体の芸能ステージが行われたほか、伝承館内では、地域伝統文化・ワークショップなどが行われ、訪れた方々が参加していました。



ふたばのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



10月25日(日)
ふるさとの祭り2020収録
前沢女宝財踊り(双葉町内)



11月7日(土)
双葉町産業交流センター他
3施設合同開所式・オープニングセレモニー(双葉町内)



11月8日(日)
秋の双葉を歩こう～双葉駅西側地区の災害公営住宅等の設計に関する第3回座談会～
(双葉町内)



今月の情報掲示板はお休みします

冊子「双葉町ありがとうメッセージ」を
発刊しました

双葉町公式YouTubeチャンネルでは、2018年から「双葉町ありがとうメッセージ」を配信しています。このたび、収集したメッセージが100本に達したことを記念して、一冊の本を発刊しました。この冊子は、町民の皆さんのメッセージを一部抜粋し、町の避難経緯とともに紹介しており、撮影にご協力いただいた皆さんと、ご支援いただいた方々へ順次お送りしていきます。

10月29日、震災当時ご支援をいただいた絵画保存研究所の小谷野匡子様(相馬市出身・東京都在住)が双葉町役場いわき事務所に来訪されました。小谷野様には双葉北小学校の正門前にある母子像を制作された縁で、国内をはじめ海外からご支援をいただき、感謝の気持ちを込めて伊澤町長から冊子が贈呈されました。またこの日は、双葉北小学校を訪れ、劣化した母子像を修復するための現地調査が行われました。小谷野様からは「母子像には『どんな時も母は子を守ると信じて』という思いが込められています。その思いを胸に、双葉町の皆さんも頑張ってください。今後綺麗になった母子像の元、双葉北小学校が皆さんの思い出の場所になりますように」とメッセージをいただきました。



お知らせ

中止のお知らせ



双葉町ダルマ市開催中止のお知らせ

震災後も、町民有志の「夢ふたば人」の主催により開催してまいりました、新春恒例双葉町ダルマ市ですが、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、令和3年の開催は中止といたします。

問い合わせ先 復興推進課 商工労政係 ☎0246-84-5203

双葉町民俗芸能発表会、双葉町芸能発表会中止のお知らせ

例年、双葉町ダルマ市のプログラムとして開催してまいりました双葉町民俗芸能発表会、双葉町芸能発表会ですが、双葉町ダルマ市の開催中止に伴い、令和3年の開催は中止といたします。

問い合わせ先 教育総務課 生涯学習係 ☎0246-84-5210



県政のお知らせ

皆さんの声を県政に! 県政に対するご提案をお寄せください

福島県では、県民の皆さんからの提案を今後の県の事業に活かすための「県民提案」を実施しています。実施して欲しい内容を簡潔にまとめて、県庁県民広聴室へお寄せください。

手紙、はがき、ファックス、電子メール、県庁のホームページから提案することもできます。(必ず書面で提出してください)

提案していただいた内容については、担当部局が検討し、提案を受理した日から概ね2週間程度で提案者へ回答いたします。

問い合わせ先
☎024-521-7013



【県民提案の提出先】

福島県庁県民広聴室

(〒960-8670 福島市杉妻町2-16)

■ファックス

024-521-7934

■電子メール

koucho@pref.fukushima.lg.jp

■県庁ホームページ

(検索)福島県県民広聴室 県民提案

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01010e/>

QRコードからも
県民提案のホームページへ
アクセスできます



情報提供

テクノセミナー(講習会事業)のお知らせ

県立テクノアカデミー浜では、地域の皆さまに役立つコースを準備しています。スキルアップにご活用ください。(詳細については、お問い合わせください)

| コース名 | 実施期間 | 実施時間 | 申込締切 | 定員 | 受講料 | テキスト代 |
|-------------------------|-------------------------------|-----------------|--------|----|--------|--------|
| (受験対策コース) 危険物取扱者(乙4) | 令和3年1月19日~2月2日 (月火木曜日の7日間) | 午後6時半 ~午後8時半 | 12月28日 | 10 | 3,500円 | 1,800円 |

※上記以外のコースは本校ホームページ(<https://www.tc-hama.ac.jp/>)でご確認いただけます。

問い合わせ先 ☎0244-26-1555 FAX 0244-26-1550(セミナー担当)



放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

令和2年11月20日

- ①郡山市 日和田応急仮設住宅・・・ 0.12~0.23
- ②福島市 県北保健福祉事務所・・・ 0.13
- ③郡山市 県郡山合同庁舎…………… 0.09
- ④白河市 県白河合同庁舎…………… 0.07
- ⑤会津若松市 県会津若松合同庁舎 0.07
- ⑥南会津町 県南会津合同庁舎・・・ 0.06
- ⑦南相馬市 県南相馬合同庁舎・・・ 0.06
- ⑧いわき市 県いわき合同庁舎・・・ 0.06



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

原子力規制委員会ホームページより

| 地区 | 地点 | 平成24年 4月1日 | 令和2年 11月20日 |
|----|---------------|---------------|----------------|
| 新山 | 新山公衆トイレ脇公営駐車場 | — | 0.43 |
| 新山 | 新山公民館 | — | 0.15 |
| 新山 | 双葉町歴史民俗資料館 | — | 0.19 |
| 新山 | 双葉南小学校 | — | 0.19 |
| 新山 | 双葉中学校 | — | 0.16 |
| 新山 | 県立双葉高等学校 | — | 0.23 |
| 新山 | 中央公園 | — | 0.22 |
| 下条 | 双葉総合公園 | 2.60 | 0.64 |
| 下条 | 双葉町役場 | — | 0.21 |
| 郡山 | 郡山公民館 | 1.48 | 0.32 |
| 細谷 | 双葉町仮設処理第一施設北側 | — | 調整中 |
| 細谷 | 消防屯所前 | — | 0.71 |
| 三字 | 三字公民館 | 2.53 | 0.18 |
| 山田 | 山田農村広場 | 24.47 | 3.94 |
| 石熊 | 石熊公民館 | 12.10 | 調整中 |
| 長塚 | 双葉町体育館 | 6.25 | 0.48 |
| 長塚 | 長塚二公民館 | 3.26 | 調整中 |

| 地区 | 地点 | 平成24年 4月1日 | 令和2年 11月20日 |
|----|-----------------|---------------|----------------|
| 長塚 | 双葉町青年婦人会館 | — | 1.31 |
| 長塚 | 町西住宅 | — | 0.19 |
| 長塚 | JAふたば北部営農センター | — | 4.49 |
| 長塚 | 双葉北小学校 | — | 0.58 |
| 長塚 | ふたば幼稚園 | — | 1.12 |
| 長塚 | 双葉駅北側駐車場 | — | 0.29 |
| 長塚 | 双葉町児童館 | — | 0.24 |
| 羽鳥 | 上羽鳥 | 1.89 | 0.34 |
| 羽鳥 | 羽鳥公民館 | 1.73 | 調整中 |
| 寺松 | 寺松公民館 | 3.46 | 0.95 |
| 渋川 | 渋川公民館 | 1.48 | 0.36 |
| 鴻草 | 北部コミュニティーセンター | 4.30 | 0.56 |
| 中田 | 中田公民館 | 0.77 | 0.17 |
| 両竹 | 両竹公民館 | 0.54 | 調整中 |
| 浜野 | 双葉町産業交流センター | — | 0.04 |
| 浜野 | 東日本大震災・原子力災害伝承館 | — | 0.05 |

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

ふたさぽミニコラム

11月1日から双葉町復興支援員として勤務しております前林菜美(まえばやしなみ)と申します。いわき市の勿来地区出身で、双葉町についてはまだまだ勉強中ですが、周囲の方々に助けていただきながら日々学んでおります。支援員として少しでも早く町民の皆さまのお力になれるよう精一杯努めてまいります。これから肌寒く感じる日が増えてくるかと思いますが、町民の皆さまにおかれましてはお身体に気をつけてお過ごしください。どこかでお会いできた際には私も元気な姿でご挨拶できればと思います。

前林菜美

ふたばっこぷち

ゆいか
谷津田 結花ちゃん
R1年5月生まれ

パパの野球の
応援に来ました

谷津田 淳之さん
穂波さん
(三字)

写真募集中!

必要事項を記入し、
写真をメールで送付
してください。
※未就学児が対象です